

緑の相談所だより

No.107

発行日
編集・発行

平成19年 8月 1日

財団法人旭川市公園緑地協会 緑の相談所

講習会のご案内

『秋植え球根の植付けと草花の越冬準備』

とき 平成19年 9月 9日(日) PM 1:30 ~ 3:30

講師 緑の相談所 相談員 石川 敏雄

定員 20名

会場 永山中央公園管理棟

『キノコの果たす役割』

～ キノコの見分け方 ～

とき 平成19年 9月 30日(日) PM 1:30 ~ 3:30

講師 旭川キノコ同好会 山 晋 さん

定員 50名

展示会のご案内

『秋のバラ展』

とき 平成19年 9月 22日(金) ~ 24日(日)

AM 10:00 ~ : PM 4:00

作品提供 旭川バラ会の皆さん

『森とキノコ展』

とき 平成19年 9月 28日(金) ~ 30日(日)

AM 10:00 ~ : PM 4:00

作品提供 旭川キノコ同好会

イベントのご案内

「緑のセンターまつり2007」



とき 平成19年 8月 5日(日)

会場 緑のセンター区内

開催イベント

青空体験教室(有料)、球根プレゼント、
フラワービンゴゲーム、納涼ビアガーデン など

他にも楽しいイベントいっぱい用意してます

皆様、お楽しみに♪ お待ちしてます～♪

定員になり次第募集は、締め切らせていただきます。
お申込みはお早めをお願いいたします。

講習会の受講料、展示会の観覧料は全て無料です。

場所は 9月 9日のみ永山中央公園管理棟(永山 6条 18丁目)になります。

それ以外は全て旭川市緑の相談所(旭川市神楽岡公園内)です。

お申込み・お問合せ・ご相談は、

旭川市緑の相談所 (0166)65-5553 まで。

チャレンジコーナー 難読植物漢字クイズ

～この漢字何て読みますか??～

全て植物の名前の漢字です。是非チャレンジしてみてください。

蒟 蒻 蕎 麦 馬 鈴 薯 大 角 豆 薯 蓿 芋

石 蓐 占 地 菠 薐 草 蕃 茄 花 椰 菜

ヒント! 全て食べられる植物名です。

(回答は裏面に記載してあります。)

ペチュニア ~ 育て方のコツ ~

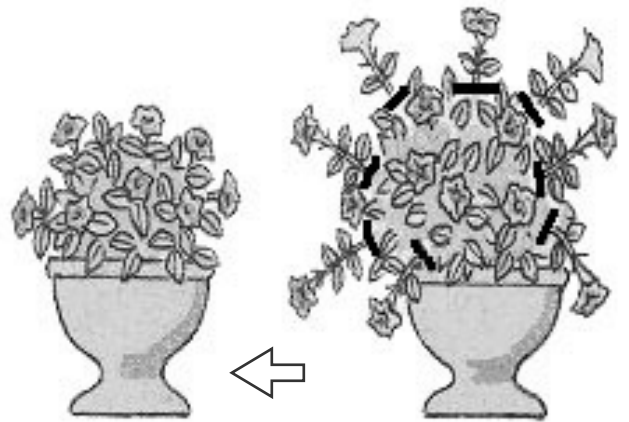
— 花を長く、きれいに咲かせるために、こまめに手入れを —

○ 切 り 戻 し

どこをどうやって切る？

- ・ 枝の先端を 1 本ずつ持ち、枝の 3 分の 1 から 2 分の 1 の長さのところの葉の付け根にある新芽のすぐ上で切ります。
- ・ 株全体の 3 分の 1 から 2 分の 1 を残すのが基本
- ・ 切り戻し後は 1 ヶ月位で、もとの姿になります。
(旭川の秋は短いので強剪定はしない。)

切り戻した元株には暖効性肥料を施すと株の勢いが早く戻ります。



○ 夏の管理方法

- ・ 長雨と高温には特に弱いので鉢の移動を。
(水をかけ過ぎないこと、乾燥気味に)
- ・ 花がらと枯れた葉をこまめに取ります。
- ・ 枝葉を間引いて、株全体の通気を良くします。
- ・ 追肥を忘れずに(液肥 1000 倍を 1~2 回)
- ・ 病害虫の予防もこまめに(オンシツコナジラミなど)

展示室の植物たち ~ №15 ~

ベンガルボダイジュ

クワ科 フィクス属 (ゴムノキ、ベジャミナ、ガジュマルは同じ属)

熱帯植物の代表の一つで熱帯アジアに広く分布しています。日本には明治末期に入ってきましたが、あまり普及しなかったようです。熱帯では巨木になり、緑陰樹としてよく利用されています。太い気根をたくさん出し、樹冠の周囲が 300m を超える木も珍しくありません。ハワイではこの木の下に何軒もの土産店が並んだ光景が見られます。インドでは長命と豊饒(ホウジョウ)のシンボルとして神聖視されています。バンヤンジュの別名があります。

相談所の温室では狭い中でも茎葉と気根をはびこらせて、熱帯巨木の威容を保とうとしています。

同じクワ科で、シリーズ(4)で紹介したパンノキが今年 3 個の実をつけました!

平成元年に植えられてから初めての实です。現在は直径 10cm くらいの球果になっています。ぜひ見にいらしてください。

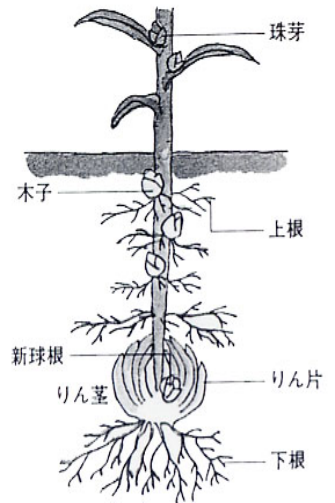
ユリの植替えと施肥の要領

毎年、今頃になると、ユリの花が咲いてきます。混み入ってきたので植替えをしたいけど、何時？どんな時期に？といった疑問をお持ちの方もたくさんいるのではないかと思います、今回はユリの植替えと施肥の要領について説明します。

1 ユリの形状

ユリの地下部分は右の図のようになっています。

- ・珠芽：秋に落ちて発芽して球根をつくります。これを使って増殖することも出来ます。(ムカゴ)
- ・木子：地中に出来る子球根で、肥培して球根をつくる事が出来ます。
- ・上根：この根で主に肥料分を吸収します。
- ・下根：ユリの体を支える根ですが、丈夫に根張るには、時間がかかるので掘上げ時には出来るだけ傷めないようにします。
- ・りん茎：球根本体



2 ユリの植替え時期

ユリは、植えてから3～5年程度で植替えますが、生育状況が良い場合は6年程度まで良いようです。時期は、秋でユリの茎葉が半分程度黄色になってきたら掘上げ、乾燥させず、ただちに予め用意した植え床に植えます。(10月下旬～11月上旬)

3 ユリを植える場所

長い間ユリを植えていた場所は肥料分が枯渇してるばかりでなくユリ自体が分泌する毒素が充満してると考えられるので不適です。全く別の場所に植えることが大切です。

4 ユリを掘上げる時の注意

ユリを掘上げるには、大型球根を例にすると、茎を中心に半径15cmの周りを深さ30cm以上で掘上げます。特に下根を切らないように大切に掘上げます。

5 ユリの植え床の準備

植える場所を定めたら表面が白くなる程度に苦土石灰をまき深さ30cm程度に耕します。1週間後1㎡当たりスコップ5～6杯の腐葉土または完熟堆肥と緩効性肥料(N:P:Kが8:8:8)を四握程まきよく耕します。

6 ユリの植え付け方

球根を4のように掘上げたら、ただちに植え床に植えます。

植える深さ：球根の高さの2.5～3倍の深さ。

球根の間かく：球根と球根との間を球根が2～3個分入る距離にする。

7 肥料の施し方

ユリは生育が旺盛なので、元肥の外に追肥を2回行います。

元肥：5で述べたとおりです。

追肥：第1回追肥：春の芽出しの頃、元肥に使った緩効性肥料を1株当たり、小さじ1杯程度を周りに与えます。(中耕はユリを傷めない為にしないほうが無難)

第2回追肥：花が咲き終わった頃、第1回追肥と同量を株の周りに施して、2～3cmの深さで中耕を行います。

8月の園芸作業

1 鉢 花 類

ユリのオリエンタル系(カサブランカ等)やグラジオラスは、花が終わったら花柄を摘み、放置しておくとう種が付き球根が肥大しません。また、花後は球根肥大の為に追肥しましょう。

観葉植物は6月に引き続き、植替え、挿し木、株分け、取り木の適期です。植替え用土は赤玉土5、腐葉土3、火山礫2の混合土が一般的です。

シクラメンは下旬頃、新しい用土に根鉢の周り3分の1程削り植替えましょう。

シャコバサボテンの新芽(茎節)は花芽分化出来るまで育ちません。伸びたらこまめに摘み取りましょう。

2 庭 木 ・ 果 樹 類

リンゴ、ナシ、サクランボ、スモモ等の立ち木の果樹は、側枝から空に向かって垂直に伸びる枝(徒長枝)が発生しますので元から切り取りましょう。(夏剪定)

甘いブドウを作る為には葉に太陽の光を十分当てる必要があります。枝が重ならないよう誘引し、葉の付け根から出る副梢(わき芽)は2~3枚残して切り取りましょう。

ツツジ等は既に花芽が出来ていますので、樹冠から飛び出した新梢だけを切り戻し樹形を整える程度にしましょう。

長年放置されたアカマツ、クロマツ等の剪定は一度に強い剪定は出来ませんので数年かけて整枝剪定しましょう。

3 洋 ラ ン 類

シンビジウムは上旬には置き肥を止め、週1回の液肥に切り替え水やりと、日光に良く当てましょう。

デンドロビウム(ノビル系)は昼夜の温度差が大きくなるにつれて成長が鈍くなりそれに伴ってバルブが太ってくると、今年伸びたバルブの先端に小さな葉が1枚つきます。これを『止め葉』と呼び、この時から肥料を一切与えず水やりも控えましょう。

カトレア類のシースが出かかった株は追肥を中止し、戸外の鉢は12月を目処に入室しましょう。

9月の園芸作業

1 草 花 ・ 球 根 ・ 鉢 花 類

シャクヤク等の宿根草や花後に出来なかったジャーマンアイリスの株分け、植替えをしましょう。

ポインセチアやハイビスカス等の耐寒性のない鉢物は9月中旬には入室しましょう。

クンシランは水やりを止めてしっかり低温に当てましょう。

アザレアは開花準備期です。肥料を止め、しっかり水やりしましょう。

インパチエンス、アキランサス、コリウス、ガザニア等の花壇の草花の一部を鉢上げし春に備えましょう。カンナ、アマリリス、ダリアは霜の来る前に掘上げ、無暖房の室内等で管理しましょう。

スイセン類、クロッカス、シラー等の球根は中旬から下旬に定植しましょう。

2 庭 木 ・ 果 樹 類

イチイ、マツ類の剪定は9月中に終わらせましょう。

ボタンは植え付け移植の時期です。気温が下がってくると地際近くから新根が出始めますので、リン、カリ肥料を施肥し、自根を出させるために5~7cm位土寄せしましょう。

生垣、玉物等新芽が伸びて不揃いになったものは随時刈り取りましょう。

西洋シャクナゲ等、寒さに弱い花木にはカリ肥料(硫酸カリ)を与えましょう。

3 洋 ラ ン 類

シンビジウムはバルブの充実期、最低気温10℃程度なら戸外に置きましょう。

デンドロビウム(ノビル系)も同様に管理しましょう。ただし、朝の気温が7~8℃になったら入室し、暖房のない明るい窓辺で管理しましょう。(夜間10℃、昼間20℃が適温)